

# 【金物工法施工マニュアル】

**PRESETOR**  
2 Piece & Strong Joint System of Construction

**PRESETOR SU**  
Single-Unit Joint System of Construction





## はじめに

- ・本マニュアルは、プレカット工場や施工現場等で金物工法用の金物を使用する方へ向けた、施工方法及び施工上の注意事項を記載したマニュアルになります。
- ・適切な施工をされないと重大な事故やトラブルにつながる恐れがありますので、本マニュアルを必ずご一読ください。
- ・施工の際には軍手や手袋をはめ、さらに保護メガネを装着し、ケガのないようにしてください。
- ・接合・締付け工具類は適切なものをご使用ください。
- ・金物を放り投げる、ハンマーで叩く等、乱暴に扱うと破損や変形の恐れがあります。
- ・本マニュアルでパイプ金物類とは以下の金物を指します。  
ロールパイプ、PZ ホールダウンパイプ、フレックスパイプ、  
ロールフレックスパイプ
- ・本マニュアルでパイプ柱脚金物類とは以下の金物を指します。  
プレセッター柱脚金物 ( コーナータイプ )  
プレセッター柱脚金物・Ⅱ ( ストレートタイプ・コーナータイプ )  
プレセッター柱脚金物 ( 一体型 )
- ・本マニュアルでプレセッター梁受金物類とは以下の金物を指します。  
プレセッター SU 梁受金物、プレセッター梁受金物、  
プレセッタータイプ M 梁受金物

# もくじ

## 1 金物取付

パイプ金物 土台 取付方法 (RP-10、PZ-HDP15・20) . . . . .	1
パイプ金物類 梁・桁 取付方法 (RP-10、PZ-HDP、FP-260、RFP-140) . . . . .	2
パイプ金物類 梁貫通 取付方法 (PZ-HDP-30、FP-260) . . . . .	3
プレセッター梁受金物 プレート金物・先行ピン 取付方法 (PS-10SU～90SU、PS-10～33、M/PS-10PZ～39PZ) . . . . .	4
プレセッター梁受金物 土台 取付方法 (PS-10SU、PS-10、M/PS-10PZ) . . . . .	5
プレセッター梁受金物 土台 両側取付方法 (PS-10SU、PS-10、M/PS-10PZ) . . . . .	6
プレセッター梁受金物 柱・梁 取付方法 (PS-10SU、PS-10、M/PS-10PZ) . . . . .	7
プレセッター梁受金物 柱・梁 両側取付方法 (PS-10SU、PS-10、M/PS-10PZ) . . . . .	8
プレセッター梁受金物 柱・梁 取付方法 (PS-18SU～90SU、PS-18～33、M/PS-18PZ～39PZ) . . . . .	9
プレセッター梁受金物 柱・梁 両側取付方法 (PS-18SU～90SU、PS-18～33、M/PS-18PZ～39PZ) . . . . .	10
PS-Iハンガー 柱・梁 取付方法 . . . . .	11

## 2 施工・建て方

### 土台

プレセッター柱脚金物・Ⅱ ストレートタイプ 基礎・土台 取付方法 . . . . .	1
プレセッター柱脚金物、プレセッター柱脚金物・Ⅱ コーナータイプ 基礎・土台 取付方法 . . . . .	2
プレセッター柱脚金物 ( 一体型 ) 基礎・土台 取付方法 . . . . .	3
高耐力柱脚金物 45・75 基礎 取付方法 . . . . .	4
土台固定金物 取付方法 (Y-SW、C-SW-Ⅲ、PZ-C-SW-M) . . . . .	5
プレセッター SU 土台継手金物 取付方法 . . . . .	6
プレセッター土台継手金物 取付方法 . . . . .	7

### 構造

高耐力柱脚金物 45・75 柱 接合方法 . . . . .	8
パイプ金物類 柱脚 接合方法 (パイプ金物類、パイプ柱脚金物類) . . . . .	9
パイプ金物類 柱継ぎ 接合方法 . . . . .	10

### 上棟

プレセッター梁受金物 接合方法 (PS-10～33、M/PS-10PZ～39PZ) . . . . .	11
プレセッター SU 梁受金物 接合方法 (PS-10SU～90SU) . . . . .	12
PS-Iハンガー I型ジョイスト 接合方法 . . . . .	13

### 3 施工注意事例

プレセッター梁受金物 注意事例 . . . . .	1
パイプ金物類・パイプ柱脚金物類 注意事例 . . . . .	4
プレセッター柱脚金物 注意事例 . . . . .	5
プレセッター柱脚金物 ( 一体型 ) 注意事例 . . . . .	6
高耐力柱脚金物 45・75 注意事例 . . . . .	7
プレセッター土台継手金物 注意事例 . . . . .	8
PS-Iハンガー 注意事例 . . . . .	9

## パイプ金物 土台 取付方法 (RP-10、PZ-HDP15・20)

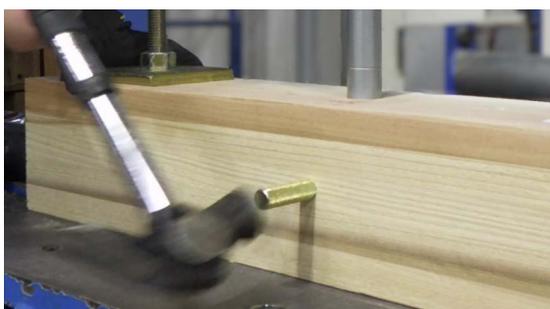


1. 土台の所定の位置にパイプ金物を挿入します。  
※ 写真は RP-10



2. 刻印線を参考に指定の高さまでパイプ金物を入れたら、土台と金物の穴が合っていることを確認します。

【注意点①】 木材とパイプの穴が合っていることを確認してから、ドリフトピンを打ち込んでください。



3. 土台の穴位置にドリフトピンを打ち込んで施工完了です。



※ 直行方向に梁受金物が来る場合は、ドリフトピンの代わりに M12 中ボルトと丸座金又は PS 座付ボルトを挿入します。

## パイプ金物類 梁・桁 取付方法 (RP-10、PZ-HDP、FP-260、RFP-140)



1. 梁・桁の所定の位置にパイプ金物を挿入します。  
※ 写真は RP-10



2. 刻印線を参考に指定の高さまでパイプ金物を入れ、梁・桁と金物の穴が合っていることを確認します。

【注意点①】 木材とパイプの穴が合っていることを確認してから、ドリフトピンを打ち込んでください。



3. 梁・桁の穴位置にドリフトピンを打ち込んで施工完了です。



※ 直行方向に梁受金物が来る場合は、ドリフトピンの代わりに M12 中ボルトと丸座金又は PS 座付ボルトを挿入します。

## パイプ金物類 梁貫通 取付方法 (PZ-HDP-30、FP-260)



1. 梁・桁の所定の位置にパイプ金物を挿入します。  
※ 写真は PZ-HDP-30



2. 刻印線を参考に指定の高さまでパイプ金物を入れ、梁・桁と金物の穴が合っていることを確認します。

【注意点①】 木材とパイプの穴が合っていることを確認してから、ドリフトピンを打ち込んでください。



3. 梁・桁の穴位置に脱落防止用のドリフトピンを打ち込んで施工完了です。  
※ パイプ金物には直行梁用の梁受金物専用のボルト穴も開いており、使用しない穴がある場合があります。



※ 直行方向に梁受金物が来る場合は、ドリフトピンの代わりに M12 中ボルトと丸座金又は PS 座付ボルトを挿入します。

**プレセッター梁受金物  
プレート金物・先行ピン 取付方法  
(PS-10SU ~ 90SU、PS-10 ~ 33、  
M/PS-10PZ ~ 39PZ)**



1. 梁のスリットにプレート金物を差し込みます。  
※ 写真は PS-10  
※ プレートの向きに注意



2. プレート金物がずれないようにピン等 (φ12 以下) を通しておきます。  
※ 写真はプレセッター取付治具を使用



3. 先行ピンの穴 (梁の木口側上端及び内側すべて) にドリフトピンを打ち込んで施工完了です。



- ※ 梁受金物がプレセッター SU の場合は先行ピンを梁の上端に 1 本のみ打ち込みます。  
※ 写真は PS-10SU

## プレセッター梁受金物 土台 取付方法 (PS-10SU、PS-10、M/PS-10PZ)



1. 土台の所定の位置に M12 中ボルトと丸座金又は PS 座付きボルトを挿入します。

※ 写真は PS 座付ボルト



2. 金物の背面の穴にボルトを通し、木材に対して、まっすぐになるように向きを調整します。

※ 写真は PS-10SU

【注意点①】金物が斜めに取り付けられている場合、ナットを緩めた後に向きを補正してください。



3. 金物をゴムハンマーなどで叩き、背面のツメを木材に入れ、回転しないよう固定します。

※ 写真ではプレセッター SU 取付治具を用いて向きを固定しています。



4. ナットをボルトに留め付けます。



5. ナットをレンチで適度 (推奨トルク 20N・m) に締め付けて施工完了です。

※ ナットは強く締め過ぎないでください。

【注意点③】インパクトドライバーで締め付ける場合、変形・めり込みが発生しないよう十分に気を付けて施工してください。

## プレセッター梁受金物 土台 両側取付方法 (PS-10SU、PS-10、M/PS-10PZ)



1. 金物本体と土台の穴に M12 中ボルトを通します。  
※ 写真は PS-10SU



2. 金物をまっすぐになるように置き、ゴムハンマーなどで叩き、金物背面のツメを木材に入れて、回転しないように固定します。反対側も同様に固定します。

※ 写真ではプレセッター SU 取付治具を用いて向きを固定しています。

【注意点①】金物が斜めに取り付いている場合、向きを直してから梁の施工をしてください。



3. ナットをボルトに留め付けます。



4. ナットをレンチで適度 (推奨トルク 20N・m) に締め付けて施工完了です。

※ ナットは強く締め過ぎないでください。

【注意点③】インパクトドライバーで締め付ける場合、変形・めり込みが発生しないよう十分に気を付けて施工してください。

## プレセッター梁受金物 柱・梁 取付方法 (PS-10SU、PS-10、M/PS-10PZ)



1. 柱・梁の所定の位置に M12 中ボルトと丸座金又は PS 座付ボルトを挿入します。

※ 写真は PS 座付ボルト



2. 金物の背面の穴にボルトを通し、木材に対して、まっすぐになるように向きを調整します。

※ 金物のノーマル穴とダウン穴のどちらを使うか確認の上、施工してください。

※ 写真は PS-10SU

【注意点①】金物が斜めに取り付いている場合、向きを直してから梁の施工をしてください。



3. 金物をゴムハンマーなどで叩き、背面のツメを木材に入れ、回転しないよう固定します。

※ 写真ではプレセッター SU 取付治具を用いて向きを固定しています。



4. ナットをボルトに留め付けます。



5. ナットをレンチで適度 (推奨トルク 20N・m) に締め付けて施工完了です。

※ ナットは強く締め過ぎないでください。

【注意点③】インパクトドライバで締め付ける場合、変形・めり込みが発生しないよう十分に気を付けて施工してください。

## プレセッター梁受金物 柱・梁 両側取付方法 (PS-10SU、PS-10、M/PS-10PZ)



1. 金物本体と柱・梁の穴に M12 中ボルトを通します。  
※ 金物のノーマル穴とダウン穴のどちらを使うか確認の上、施工してください。  
※ 写真は PS-10SU



2. 金物をまっすぐになるように置き、ゴムハンマーなどで叩き、金物背面のツメを木材に入れて、回転しないように固定します。  
反対側も同様に固定します。  
※ 写真はプレセッター SU 取付治具を用いて向きを固定しています。  
【注意点①】金物が斜めに取り付いている場合、向きを直してから梁の施工をしてください。



3. ナットをボルトに留め付けます。



4. ナットをレンチで適度 (推奨トルク 20N・m) に締め付けて施工完了です。  
※ ナットは強く締め過ぎないでください。  
【注意点③】インパクトドライバーで締め付ける場合、変形・めり込みが発生しないよう十分に気を付けて施工してください。

## プレセッター梁受金物 柱・梁 取付方法 (PS-18SU ~ 90SU、PS-18 ~ 33、 M/PS-18PZ ~ 39PZ)



1. 柱・梁の所定の穴に M12 中ボルトと丸座金又は PS 座付ボルトを挿入します。  
※ 写真は PS 座付ボルト



2. 金物の背面の穴にボルトを通します。  
※ 金物のノーマル穴とダウン穴のどちらを使うか確認の上、施工してください。  
※ 写真は PS-18SU



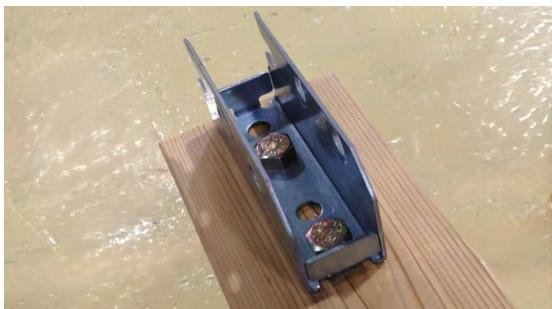
3. ボルトにナットを留め付けます。



4. ナットをレンチで適度 (推奨トルク 20N・m) に締め付けて施工完了です。  
※ ナットは強く締め過ぎないでください。

【注意点③】インパクトドライバーで締め付ける場合、変形・めり込みが発生しないよう十分に気を付けて施工してください。

## プレセッター梁受金物 柱・梁 両側取付方法 (PS-18SU ~ 90SU、PS-18 ~ 33、 M/PS-18PZ ~ 39PZ)



1. 金物本体と柱(梁)の所定の穴にM12 中ボルトを通します。  
※ 金物のノーマル穴とダウン穴のどちらを使うか確認の上、施工してください。  
※ 写真は PS-18SU



2. 木材に通した中ボルトにもう一つの金物を通します。



3. ナットをボルトに留め付けます。



4. ナットをレンチで適度(推奨トルク 20N・m)に締め付けて施工完了です。  
※ ナットは強く締め過ぎないでください。

【注意点③】インパクトドライバーで締め付ける場合、変形・めり込みが発生しないよう十分に気を付けて施工してください。

## PS-I ハンガー 柱・梁 取付方法



1. 柱・梁の穴位置のすべてに M12 中ボルトと丸座金又は PS 座付ボルトを通します。  
※ 写真は PS 座付ボルト



2. 金物の背面の穴にボルトを通します。



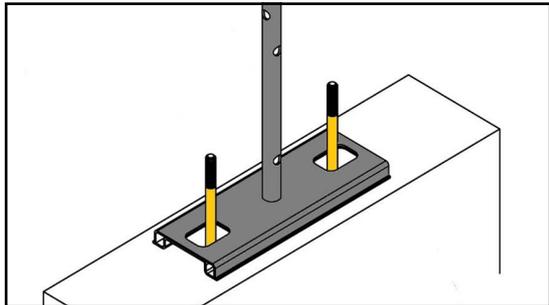
3. ボルトにナットを留め付けます。



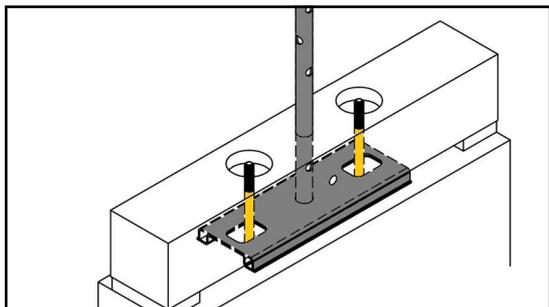
4. ナットをレンチで適度 (推奨トルク 20N・m) に締め付けて施工完了です。

【注意点③】インパクトドライバーで締め付ける場合、変形・めり込みが発生しないよう十分に気を付けて施工してください。

## プレセッター柱脚金物・Ⅱ ストレートタイプ 基礎・土台 取付方法

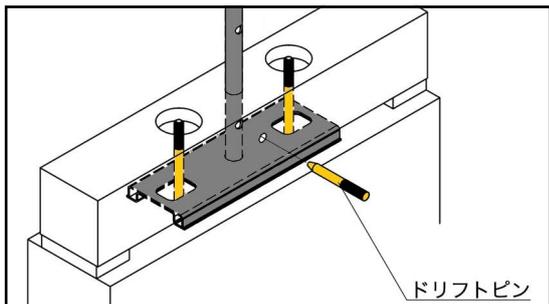


1. 基礎のアンカーボルトに合わせて、金物を設置します。

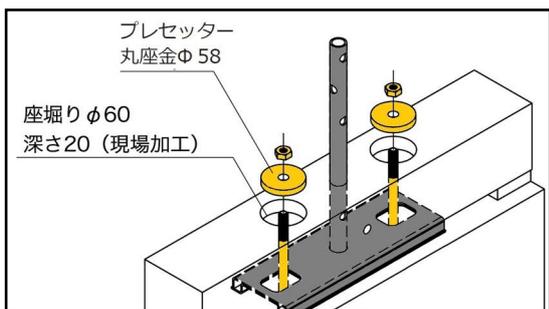


2. 土台の穴をアンカーボルトと金物に通して、土台を設置し、ドリフトピン穴が合っていることを確認します。

【注意点①】アンカーボルトは必ず全て設置・固定してください。また、アンカーボルト打設前に位置の確認をしてください。

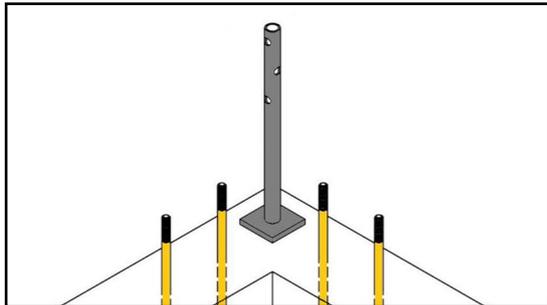


3. 土台のドリフトピン穴にドリフトピンを打ち込みます。



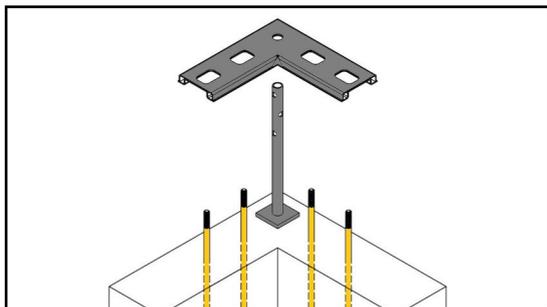
4. アンカーボルトにプレセッター丸座金を通し、ナットで留め付けて施工完了です。

## プレセッター柱脚金物、プレセッター柱脚金物・Ⅱ コーナータイプ 基礎・土台 取付方法



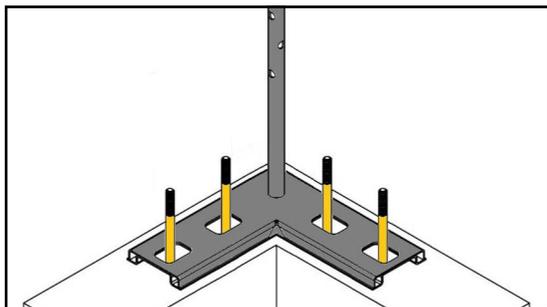
1. 後で設置する柱の穴向きに合わせて、パイプ型の金物を設置します。

【注意点②】コーナータイプはパイプとベース部が分かれているので、パイプ穴位置と柱の向きに注意してパイプを設置してください。

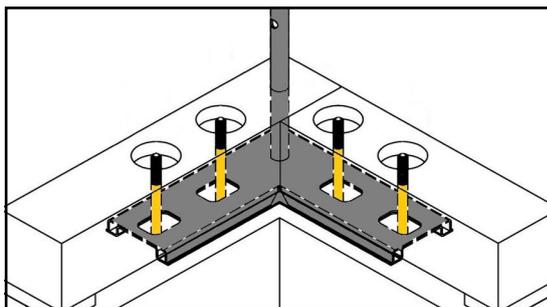


2. 基礎のアンカーボルトと先に置いたパイプ型の金物に合わせて、L型の金物を設置します。

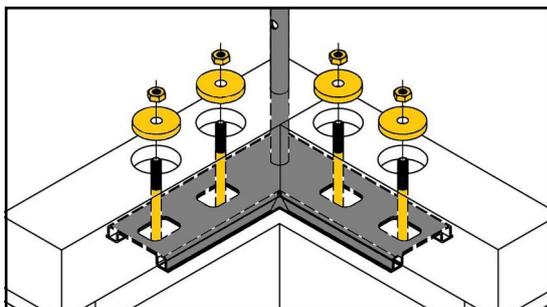
【注意点①】アンカーボルトは必ず全て設置・固定してください。また、アンカーボルト打設前に位置の確認をしてください。



3. L型の金物が基礎から浮いておらず、パイプ型の金物が回転しないことを確認します。

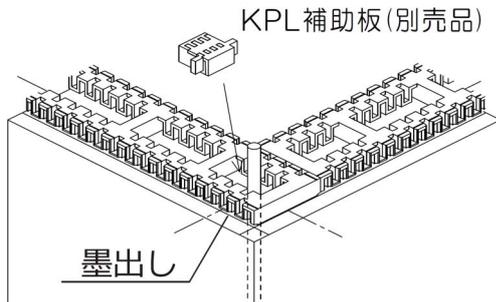


4. 土台の所定の穴にアンカーボルトとパイプ型の金物を通して、土台を設置します。



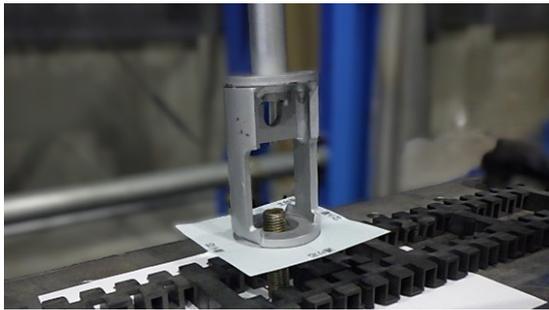
5. アンカーボルトにプレセッター丸座金を通し、ナットで留め付けて施工完了です。

## プレセッター柱脚金物（一体型） 基礎・土台 取付方法

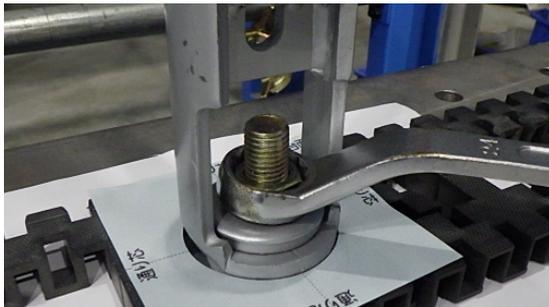


1. 基礎に土台の墨出しをし、必要があればキソパッキンとその補助板を敷きます。

※ 画像はキソパッキンロングの場合  
【注意点①】キソパッキンを使用する際、[プレセッター柱脚金物を取り付ける箇所に補助板を入れてください。](#)



2. 金物底面に位置合わせシートを張り、金物をアンカーボルトに通して、専用座金とナットで仮止めします。

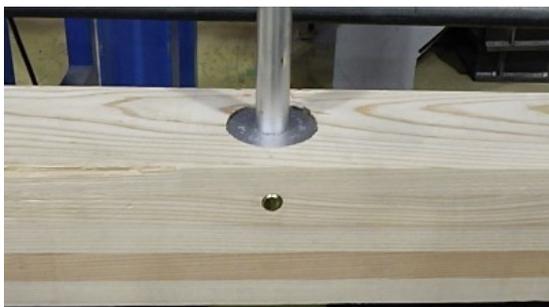


3. 金物の向き、位置合わせシートの通り芯と基礎の墨出しのラインを合わせて、ナットを適度（推奨トルク 30N・m 以下）に締め付けます。  
※ ナットは強く締め過ぎないでください。

【注意点②】金物の取付向きを直す際は、[アンカーボルトを緩めてから補正してください。](#)

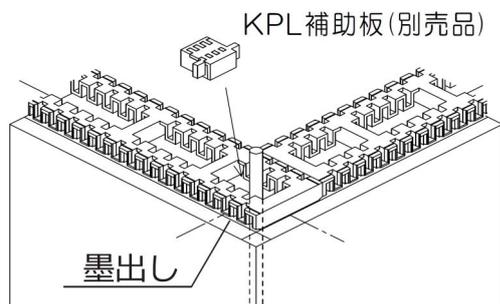


4. 土台の穴を金物に通して、土台を設置します。



5. 土台と金物の天端・ドリフトピン穴が合っていることを確認し、土台と金物をドリフトピン又はボルトを通して固定し施工完了です。

## 高耐力柱脚金物 45・75 基礎 取付方法



1. 基礎に土台の墨出しをし、必要があればキソパッキンとその補助板を敷きます。

※ 画像はキソパッキンロングの場合



2. 金物をアンカーボルトに通して、後で設置する柱のスリットの向き及び基礎の墨出しと金物の刻印線を合わせて設置します。

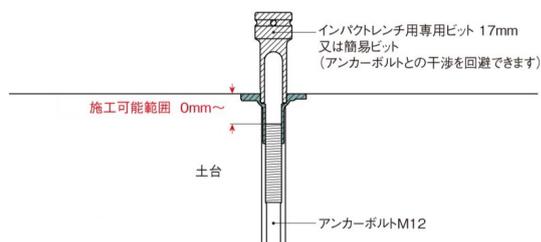
※ 写真は高耐力柱脚金物 45 (105用)、キソパッキンなし。



3. アンカーボルトに専用の偏芯座金を通し、ナットで留め付けて施工完了です。

※ 高耐力柱脚金物 75 は丸座金も通します。

## 土台固定金物 取付方法 (Y-SW、C-SW-Ⅲ、PZ-C-SW-M)



1. 土台を設置し、土台のボルト穴とアンカーボルトが当たっていないこと、アンカーボルト頂部が土台上端から施工可能範囲にあることを確認します。

### 施工可能範囲

スクリューワッシャー

0～10 mm

カットスクリュー・Ⅲ

0～23 mm

PZ カットスクリュー・ミドル

0～26 mm



2. 金物をボルト穴に入れ、手回しでボルトと接合します。



3. 専用ビットまたは簡易ビットを取り付けたインパクトレンチで金物を締め込みます。  
※ 推奨工具：インパクトレンチ (トルク値 300N・m)



4. 金物上面が土台天端以下の位置に来るまで締めて施工完了です。

## プレセッター SU 土台継手金物 取付方法



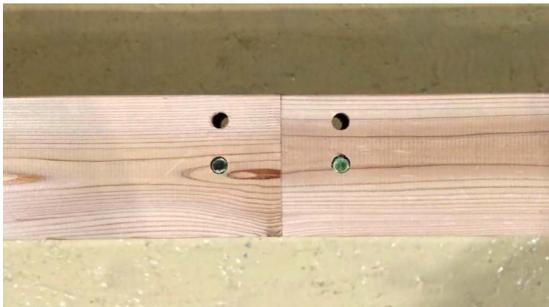
1. 接合する土台の下側の穴に先行ピンが入っていることを確認します。

[【注意点①】プレセッター SU 土台継手金物は他の梁受金物と異なり、下側が先行ピンなので取付向きに注意してください。](#)



2. 先行ピンが入っている2本の土台の木口を合わせ、上から金物をスリットに通します。金物の上端と土台の天端の高さが同じになるまで、ゴムハンマー等で挿入します。

[【注意点②】当て木やゴムハンマー等を使用して金物に変形しないように注意してください。](#)



3. 土台の後打ちピン穴と金物の穴が合っていることを確認します。



4. ドリフトピンを打ち込んで施工完了です。

## プレセッター土台継手金物 取付方法



1. 接合する土台の上側の穴に先行ピンが入っていることを確認する。



2. 先行ピンが入っている2本の土台の木口を合わせ、上から金物をスリットに通します。金物の上端と土台の天端の高さが同じになるまで、ゴムハンマー等で挿入します。

【注意点②】 当て木やゴムハンマー等を使用して金物の変形しないように注意してください。

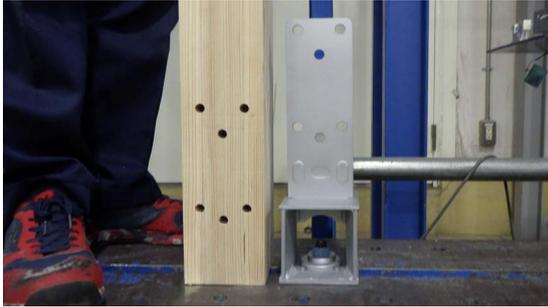


3. 土台の後打ちピン穴と金物の穴が合っていることを確認します。



4. ドリフトピンを打ち込んで施工完了です。

## 高耐力柱脚金物 45・75 柱 接合方法



1. 柱と金物の穴数を確認し、柱のスリットを金物に通します。  
※ 写真は高耐力柱脚金物 75



2. 柱の穴位置と金物の穴位置を合わせます。



3. 柱の穴位置にドリフトピンを打ち込んで施工完了です。

【注意点①】ドリフトピンを全て打ち込む前に柱に力をかけないでください。

## パイプ金物類 柱脚 接合方法 (パイプ金物類、パイプ柱脚金物類)



1. 横架材に接合されている金物がドリフトピン等で固定されていることを確認します。

※ 写真は RP-10



2. パイプ金物に柱底部の穴を通します。



3. 柱が横架材に接するまで回転させたり、柱頭側の木口をゴムハンマー等で叩いて落とし込みます。

【注意点②】 柱を揺らさず、柱を回転させる、まっすぐに上からカケヤで叩く等の施工をしてください。



4. 柱を回して金物と柱のドリフトピン穴位置を合わせます。



5. ドリフトピンを打ち込んで施工完了です。

## パイプ金物類 柱継ぎ 接合方法



1. 柱頭に接合されたパイプ金物がドリフトピン等で固定されていることを確認します。

※ 写真は RP-10



2. パイプ金物に柱底部の穴を通します。



3. 柱同士が接するまで上階側の柱を回転させたり、柱頭側の木口をゴムハンマー等で叩いて落とし込みます。

【注意点②】金物がきつい場合揺らすのではなく、柱を回転させたり、まっすぐに上からカケヤで叩く等の施工をしてください。



4. 柱を回して金物と柱のドリフトピン穴位置を合わせます。



5. ドリフトピンを打ち込んで施工完了です。

## プレセッター梁受金物 接合方法 (PS-10 ～ 33、M/PS-10PZ ～ 39PZ)



1. 接合する横架材に先行ピンが打ち込まれていること及びスリットにプレート金物が入っていることを確認します。

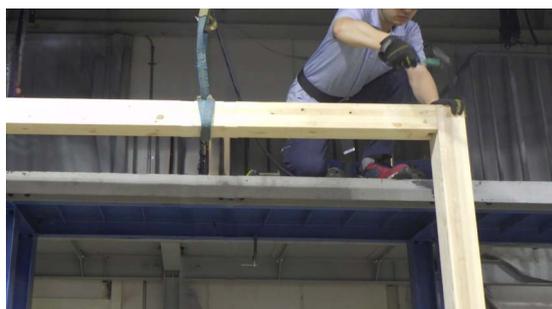


2. 横架材を水平にして、金物が取り付けいた箇所へ横架材を落とし込みます。

【注意点⑤】 梁を掛ける時は、水平を確認してから落とし込んでください。



3. 横架材の後打ちピン穴と金物の穴が合っていることを確認します。



4. 後打ちピン穴全てにドリフトピンを打ち込んで施工完了です。

【注意点⑥】 梁を掛けた後は、ドリフトピンを全て打ち込んでから梁の吊りを外してください。また、先行ピンだけの状態で上に人が乗る等の荷重をかける行為をしないで下さい。

## プレセッター SU 梁受金物 接合方法 (PS-10SU ~ 90SU)



1. 接合する横架材に先行ピンが打ち込まれていることを確認します。  
※ 写真は PS-10SU

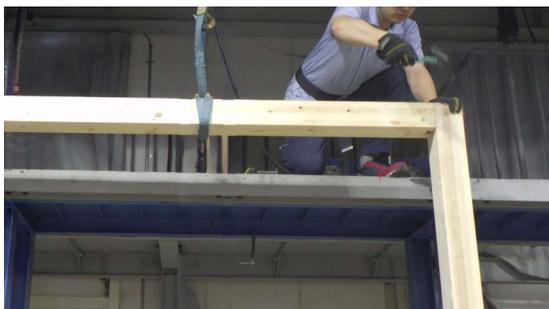


2. 横架材を水平にして、金物が取り付けられた箇所へ横架材を落とし込みます。

【注意点⑤】 梁を掛ける時は、水平を確認してから落とし込んでください。



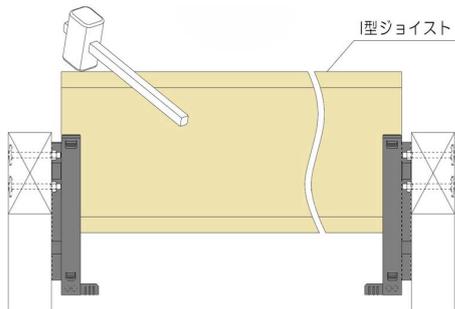
3. 横架材の後打ちピン穴と金物の穴が合っていることを確認します。



4. 後打ちピン穴全てにドリフトピンを打ち込んで施工完了です。

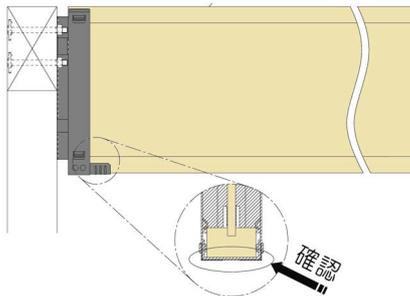
【注意点⑥】 梁を掛けた後は、ドリフトピンを全て打ち込んでから梁の吊りを外してください。また、先行ピンだけの状態で上に人が乗る等の荷重をかける行為をしないで下さい。

## PS-I ハンガー I 型ジョイスト 接合方法

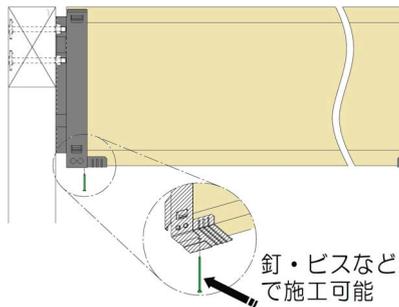


1. PS-I ハンガーに合わせて、I 型ジョイストを水平に落とし込みます。

【注意点①】 I 型ジョイストを掛ける時は、水平を確認してから落とし込んでください。



2. I 型ジョイストの下端が PS-I ハンガーの下部に接していることを確認します。



3. 設計等の必要に応じて、金物下部面にある穴に釘・ビス等を打ち込み固定して施工完了です。

## プレセッター梁受金物 注意事項

【注意点①】金物が斜めに取り付いている場合、正しい向きに直してから梁の施工をしてください。

【事例】金物が斜めに取り付いたまま梁を掛けると、金物や木材が損傷してしまいます。



金物が斜めのまま、無理に梁を落とすと金物で木を傷つけてしまいます。

【注意点②】PS-SU10 が斜めに取り付いていて修正する場合は、必ずナットを緩めた後に治具や墨だしを利用して補正してください。

【事例】ナットを緩めずにハンマーで叩いて向きを直そうとすると、金物や木材が損傷してしまいます。

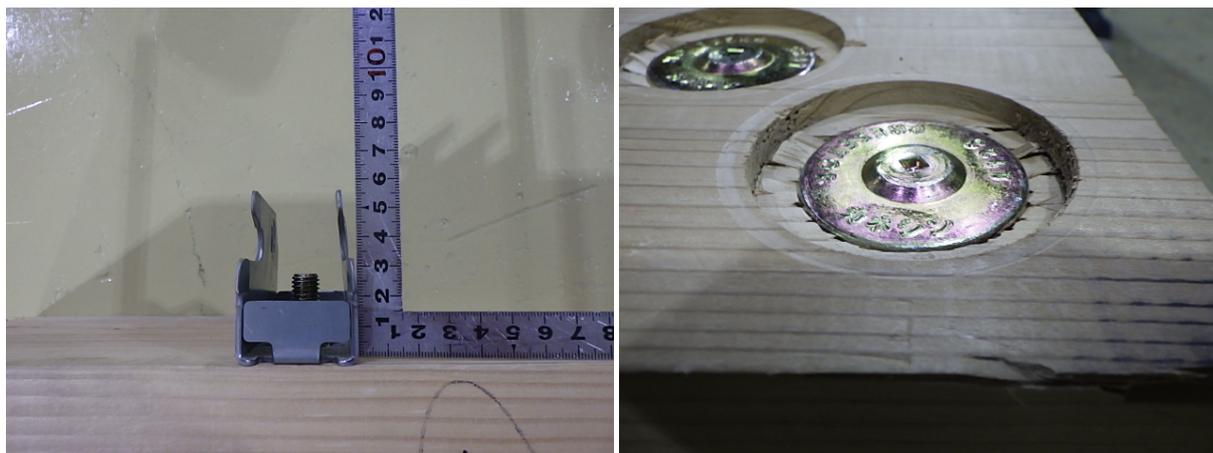


ハンマーで無理やり向きを直そうとすると、金物背面のツメで木材を傷つけてしまいます。

## プレセッター梁受金物 注意事項

【注意点③】インパクトドライバーで締め付ける場合、梁受金物背面が木材に当たったら、変形・めり込みが発生しないよう十分に気を付けて施工してください。もしくは、トルクレンチで締め付けトルクの管理をしてください。

【事例】ナットをインパクトドライバーで強く締めこむと、金物が曲がったり、座金が柱にめり込んでしまいます。



ナットを締めこみすぎて、側面が内側に寄ってしまっています。(左写真)  
座金部分が木材にめり込んでしまいます。(右写真)

【注意点④】金物を取り付けるボルトの長さを確認してから取り付けてください。

【事例】長いボルトを取り付けてしまうと、梁を落とし込んだ際にスリットに引っ掛かって金物や木材を損傷してしまいます。

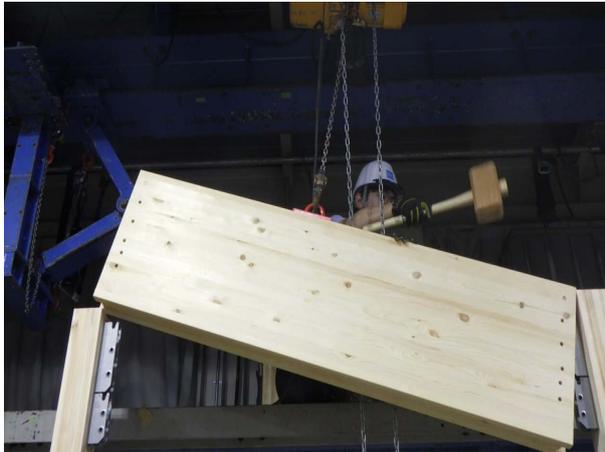


長いボルトを取り付けて、梁を施工すると梁が落ちません。

## プレセッター梁受金物 注意事項

【注意点⑤】 梁を掛ける時は、水平を確認してから落とし込んでください。

【事例】 梁が斜めのまま落とし込もうとすると、先行ピンが金物に掛からず滑落してしまう恐れがあります。



梁を水平に落とさないと、柱間に入らなかったり先行ピンと金物がはまらなかったりします。

【注意点⑥】 梁を掛けた後は、ドリフトピンを全て打ち込んでから梁の吊りを外してください。

また、先行ピンだけの状態で上に人が乗る等の荷重をかける行為をしないで下さい。

【事例】 先行ピンだけの状態で梁の吊りを外して梁上で作業をすると、梁が落下してしまう危険があります。

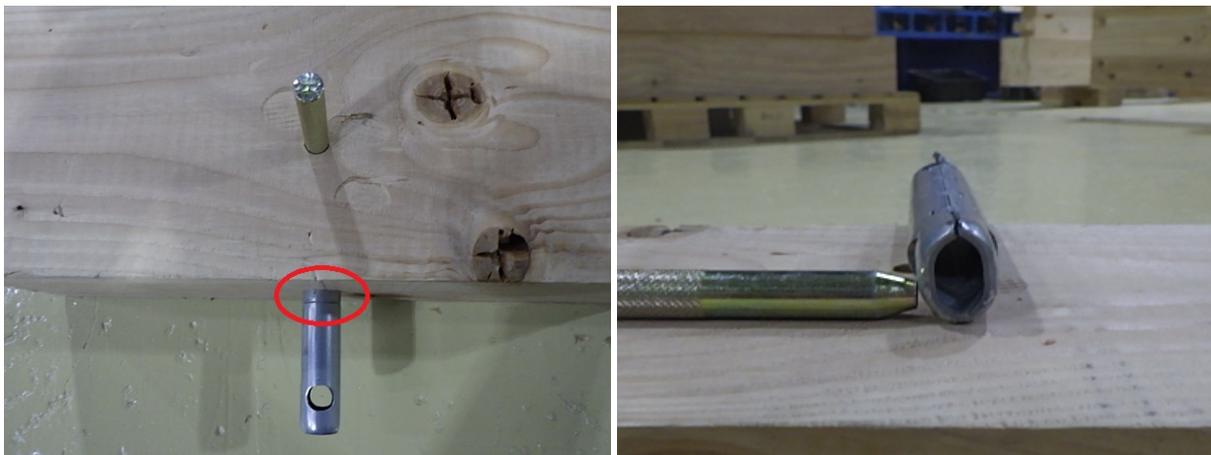


先行ピンのみで加力すると、通常の施工よりも早い段階で破壊してしまいます。(右写真)

## パイプ金物類・パイプ柱脚金物類 注意事項

【注意点①】木材とパイプの穴が合っていることを確認してから、ドリフトピンを打ち込んでください。

【事例】パイプを刻印線まで挿入せずにドリフトピンを打ち込むと、ドリフトピンや金物を損傷してしまいます。



刻印線の手前のピン穴がズレた状態で、ドリフトピンを打ち込んで金物が潰れています。

【注意点②】金物がきつい場合揺らすのではなく、柱を回転させたり、まっすぐに上からカケヤで叩く等の施工をしてください。

【事例】柱を立てる時に金物がきつい際に、柱をゆらして落とし込もうとすると、金物が変形したり柱の木口から割れが生じてしまいます。

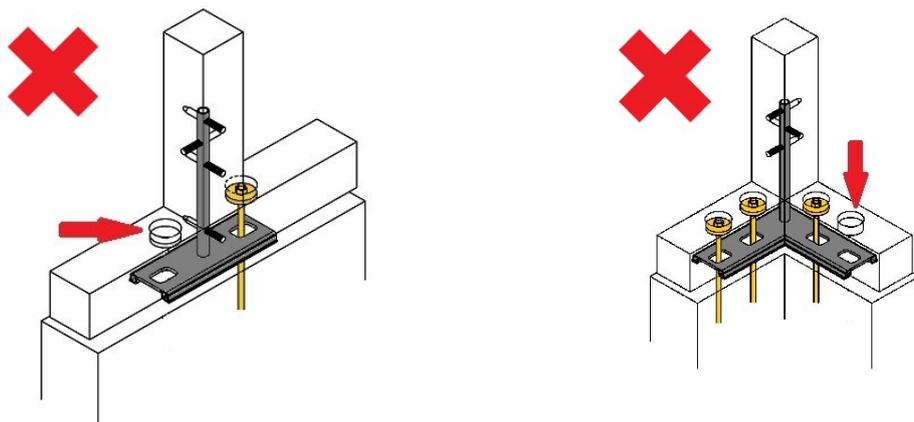


柱を揺らした結果、赤丸で囲った部分に割れが生じています。

## プレセッター柱脚金物 注意事項

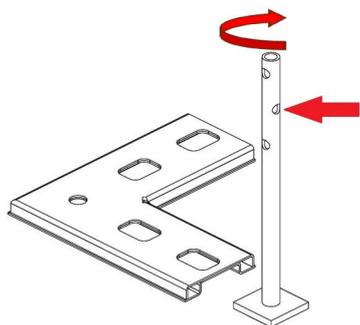
【注意点①】 アンカーボルトは必ず全て設置・固定してください。また、アンカーボルト打設前に位置の確認をしてください。

【事例】 アンカーボルトの位置や本数が間違っていると、金物・土台が設置できず、所定の耐力が発揮できなくなります。



【注意点②】 コーナータイプはパイプ部とベース部に分かれているので、パイプ穴位置と柱の向きに注意してパイプを設置してください。

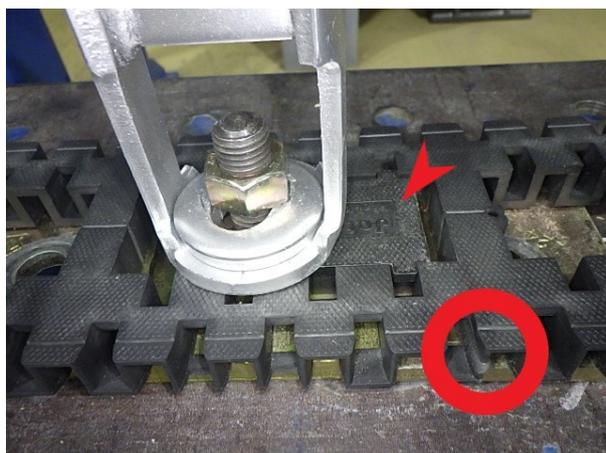
【事例】 パイプの向きを 90 度間違えると、柱の方向を間違って施工してしまいます。



## プレセッター柱脚金物（一体型） 注意事項

【注意点①】基礎にパッキンが敷かれているとき、プレセッター柱脚金物（一体型）の下に補助板やスペーサー等を入れて施工してください。

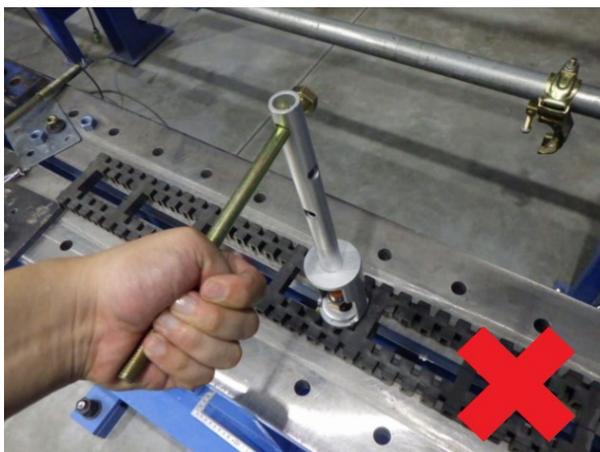
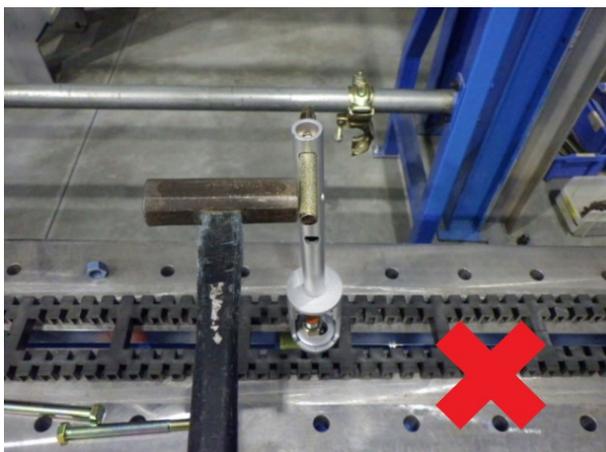
【事例】補助板を入れずにナットを強く締めるとプレセッター柱脚金物がパッキンにめり込み、傾いて土台が落とし込めないことがあります。



矢印部の補助板を入れることで、金物の固定が安定します。（左写真）  
補助板を入れずに締めこんで、金物が傾いてしまっています。（右写真）

【注意点②】金物の取付向きを直す際は、アンカーボルトを緩めてから補正してください。

【事例】金物の取り付け角度を間違えていたので、ドリフトピン等を挿して叩いて回転させようとするとう金物に変形してしまいます。



## 高耐力柱脚金物 45・75 注意事項

【注意点①】ドリフトピンを全て打ち込む前に柱に力をかけないでください。

【事例】ドリフトピンを打ち込む前に、柱に力かけると金物が損傷してしまいます。

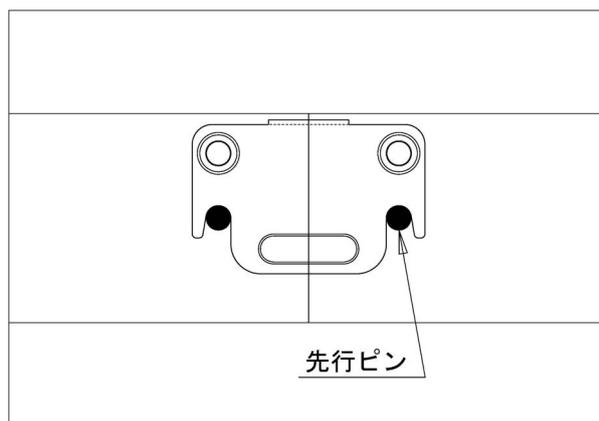


ドリフトピンを打たずに柱を傾けて、金物が変形してしまっている

## プレセッター土台継手金物 注意事項

【注意点①】プレセッター SU 土台継手金物は他の梁受金物と異なり、下側が先行ピンなので取付向きに注意してください。

【事例】上側の穴に間違えてドリフトピンを打ち込んでから、金物を施工しようとするすると木材や金物が損傷してしまいます。



【注意点②】プレセッター土台継手金物を施工する際は、当て木やゴムハンマー等を使用して金物が変形しないように注意してください。

【事例】金物を直接ハンマーで叩くと、金物が変形・損傷してしまいます。

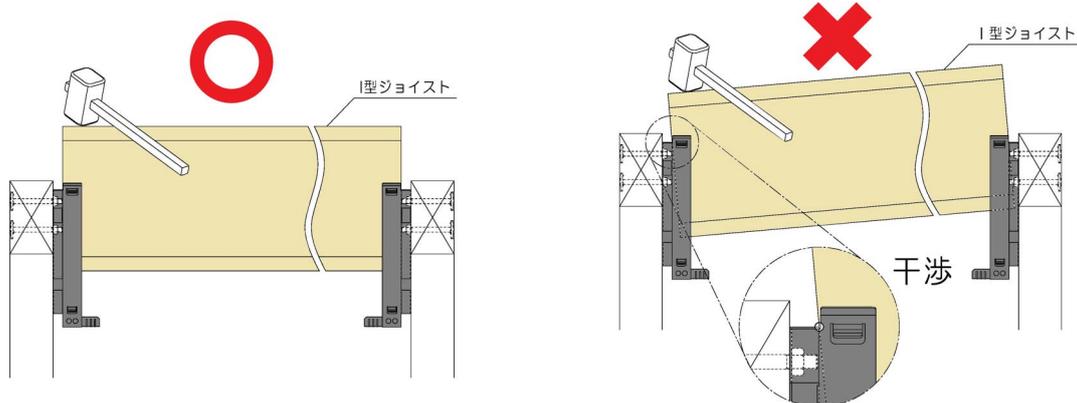


きつい状態で無理に背板を叩いて、金物が開いてしまっています。

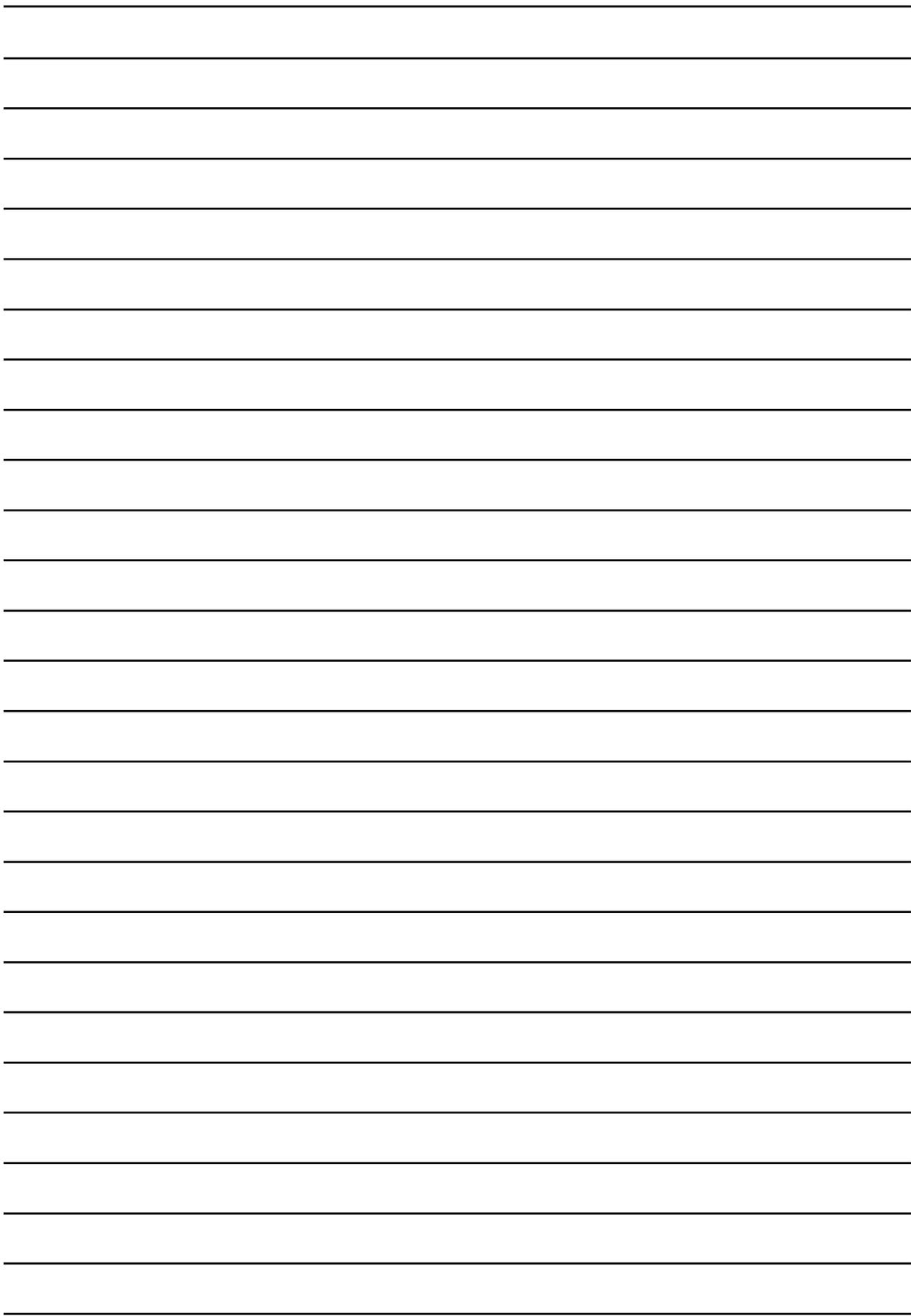
## PS-I ハンガー 注意事項

【注意点①】 I 型ジョイストを掛ける時は、水平を確認してから落とし込んでください。

【事例】 I 型ジョイストが PS-I ハンガーに引っ掛かりやすいので、斜めに落とし込もうとすると、I 型ジョイストが損傷してしまいます。







# BXカネシン株式会社

<https://www.kaneshin.co.jp/>

Tel.0120-106781 Fax.0120-677010

携帯電話からはこちらTel.03-3696-6781 技術的なお問合せTel.03-5671-1077

事業所一覧

